

未来へつなぐとちぎ農業フォーラム2023

『農業の夢を語ろう～農業を仕事にする！農業の魅力と可能性～』

日程 令和5（2023）年12月12日（火）

13:15 開会

13:30 事例発表

14:25 パネルディスカッション（高校生・農大生・宇大生・農業者）

※農業関係高校生8名、農業大学校生1名、宇都宮大学生1名、事例発表者3名

15:30 閉会

※農業高校7校+馬頭高校

会場 栃木県教育会館 大ホール（宇都宮市駒生1丁目-1-6）

事例発表者



倉本 祐樹

岡山県出身。市貝町在住。元飲食店経営。

宇都宮市内で飲食店を経営した後、自分で育てた野菜で料理をし、消費者に食べてもらいたいとの思いから、地域の有機栽培農家で1年間研修後、平成30年に市貝町で就農。里山の循環資源を大切に四季折々の野菜、小麦、大豆などを栽培（農薬・化学肥料不使用）。全国各地への旬の野菜セットの販売を展開し、種蒔きからはじまるお弁当づくり、様々なロケーションに合わせたケータリング事業を展開。販売にあっては【わたね】※の屋号でHPやSNSによりPRを図っている。

※【わたね】は、よく笑い、よく食べ、よく眠る。私たちの日常にある「しあわせの種」が由来。



後藤 国彦

那須塩原市在住。地元高校、県外大学進学後、建設会社に就職。

平成22年から有限会社那須野農産に雇用就農し、令和3年に同社代表取締役役に就任。水稲作業受託を始め、水稲や麦などの土地利用型作物とキャベツ等の園芸作物も栽培している。地域に耕作放棄地の増加が懸念される中、自分が担い手になるうと就農を決意。

近年は、飼料作物の生産に注力しており、収穫した飼料を畜産農家に供給し、代わりに良質な堆肥を農地に還元する「耕畜連携」の取組を進めている。また、コントラクター（※）として、飼料作物収穫作業の請負も行っている。

※コントラクター：主に飼料作物の収穫作業を請け負う組織



岡田 由美子（栃木県女性農業士）

芳賀町在住。精密機器関連企業に勤務後、平成23年に就農。

就農前、他産業に従事しながらも、農繁期には家業である「なし栽培」を手伝い、基本的な栽培技術の習得を図ってきた。平成28年に就農した夫は「なし栽培」経験が無かったため、JAはが野梨部会が開催する講習会に常に二人で参加するなど、共同経営者としてお互いに切磋琢磨し栽培技術の向上に努めている。栽培規模は「にっこり」を主体に、100aの「なし栽培」を行っており、笑顔を絶やさず美味しい「なし」を消費者に届けるよう心がけている。

また、「芳賀町のなし」の魅力を発信するLINEスタンプを作成し、SNSで活用したり、町のゆるキャラ「はがまるくん」に仮装し「梨女神」として、地域のマラソン大会に出場するなど、なしのPR活動にも取り組んでいる。

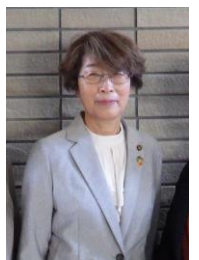
コメンテーター



長谷川 良光

（栃木県農業士会会長）

- 足利市在住
- 株式会社長谷川農場代表
肥育牛、米麦、アスパラガス等を生産販売する循環型多角的経営を実践



大高 京子

（栃木県女性農業士会会長）

- 下野市在住
- 水稲+農産物加工
- パートナーとともに農業経営の向上を志し、農村生活研究グループ等の組織活動及び地域食材を活用した農産物加工に取り組む

MC



山口 あや

（フリーアナウンサー）

- レディオベリーで栃木の農業・林業を応援する番組『ナチュラルリズム』パーソナリティとして2017～2020年まで番組を担当
- いちご王国アンバサダー
- とちぎオープンファーム動画制作担当
（栃木県農政部YouTubeチャンネル）
- 母の実家である旧喜連川町のお米農家で毎年田植えを手伝うことが恒例行事